

## 第26回長野県中学校陸上競技混成（四種）競技大会実施要項

【第46回全日本中学校陸上競技選手権大会（混成(四種)競技）参加資格取得競技会】

- 1 主催 長野県中学校体育連盟（一財）長野陸上競技協会
- 2 主管 長野県中学校体育連盟陸上競技部（一財）長野陸上競技協会
- 3 日時 2019年6月22日（土） AM 9：00 競技開始（予定）
- 4 会場 松本平広域公園陸上競技場（松本市今井）【171020】
- 5 競技種目 男子四種競技（① 110mH(0.914m/9.14m) ②砲丸投(4.000kg) ③走高跳 ④ 400m)  
女子四種競技（① 100mH(0.762m/8.00m) ②走高跳 ③砲丸投(2.721kg) ④ 200m)
- 6 競技規定 本大会は2019年度 日本陸上競技連盟規則及び本大会要項を適用する。
- 7 参加資格 長野陸上競技協会の登録競技者で、学校長が参加を認めた者。
- 8 表彰規定 8位までの入賞者には賞状を授与する。
- 9 参加制限 次の（1）から（4）のいずれかを満たす者。  
（1）1500点以上の記録を有する者。  
（2）四種競技得点表により各種目を換算して、合計得点が男子1550点以上、女子1600点以上の記録になる者（公認競技会で出した記録に限る。男子砲丸投は5.000kgで換算する。追風参考記録については問わない。）  
（3）各種目で以下の標準記録を超えている者（公認競技会で出した記録に限る）  
（1種目でよい。追風参考記録については問わない。）

<b>【男子】</b> 110mH 18” 00 砲丸投 10m00(5.000kg) 走高跳 1m60 400m 56” 00	<b>【女子】</b> 100mH 16” 50 砲丸投 9m50(2.721kg) 走高跳 1m40 200m 28” 00
---	--

- （4）次のいずれかの種目で以下の標準記録を超えている者（公認競技会で出した記録に限る）（追風参考記録については問わない。）

<b>【男子】</b> 100m 11” 80 走幅跳 5m80 棒高跳 3m00	<b>【女子】</b> 100m 13” 20 走幅跳 4m50 棒高跳 2m20
---	---

（参考）ルールブックより

いかなる競技者も、混成競技において1種目でもスタートしなかったか、また1回も試技をしなかったときは、それ以降の種目に参加することは許されず、競技を棄権したものとみなされる。したがって、競技者は最終順位には加えられない。混成競技から棄権しようとする競技者は、直ちに混成競技審判長に申し出なければならない。

- 10 申込方法
  - \* 長野陸上競技協会ホームページのエントリーファイルを使用する。
  - （1）長野陸協ホームページから、本大会のファイルをダウンロードし、期日までにエントリーセンターへ送付する。
  - （2）職印を押印したシートを下記宛に送付する。  
 ー送付先ー 山野井宏彰（東御東部中学校）〒389-0515 東御市常田300-2  
 TEL0268-62-0145 FAX0268-62-0099  
 ※エントリーファイルの送信のみではエントリーにならないので、エントリーシートの送付も期限内に必ず行う。  
 ※エントリーシート送信後エントリーの追加・訂正をした場合も、エントリーセンター送信に加え、シート送付先へFAXでも送信する。
  - （3）エントリー料は、競技会当日選手受付にて納入する。当日欠席の選手分も必ず納入する。  
 エントリー料 一人800円（参加料500円+プログラム代300円）。
  - （4）申込期限 2019年6月7日（金）24時まで。期限に遅れたものは受け付けない。
- 11 その他
  - （1）競技場は全天候走路なのでスパイクピンは9mm以下、走高跳は12mm以下を使用する（オールウェザー専用ピンを使用する）。
  - （2）ナンバーカードは登録ナンバーカードを使用する。安全ピンも持参する。
  - （3）走高跳は男子1m40もしくは1m50、女子1m20もしくは1m30から競技を開始する（当日の天候により変更もあり得る）ので、選手はハードル招集時にどちらの高さから始めるか申告する。
  - （4）競技中の事故については応急処置のみ行うが、その後は各校で処置する。
  - （5）受付はAM7：30より行う。プロ訂正はAM8：30までに完了する。
  - （6）各学校、1名以上の競技役員（公認審判員でなくてもよい）のご協力をお願いします。

## 県中学夏季記録会 2019 大会要項

- 1 主 催 (一財)長野陸上競技協会
- 2 主 管 長野県中学校体育連盟陸上競技部 (一財)長野陸上競技協会
- 3 日 時 2019年6月22日(土) AM9:00競技開始
- 4 会 場 松本平広域公園陸上競技場(松本市今井)【171020】
- 5 競技種目 男子 100m 200m 800m 1500m  
110mH(0.914m/9.14m) 1年100mH(0.838m/8.50m)  
走幅跳 ジャバリックスロー(0.300kg) 円盤投(1.500kg)  
女子 100m 200m 800m 1500m 100mH(0.762m/8.00m)  
走幅跳 ジャバリックスロー(0.300kg) 円盤投(1.000kg)
- 6 競技規定 本大会は2019年度 日本陸上競技連盟規則及び本大会要項を適用する。
- 7 参加資格 長野陸上競技協会の登録競技者
- 8 参加制限 一人1種目
- 9 申込方法 \*長野陸上競技協会ホームページのエントリーファイルを使用する。  
(1) 長野陸協ホームページから、本大会のファイルをダウンロードし、期日までにエントリーセンターへ送付する。  
(2) 職印を押印したシートを下記宛に送付する。  
一送付先一 山野井宏彰(東御東部中学校) 〒389-0515 東御市常田300-2  
TEL0268-62-0145 FAX0268-62-0099  
※エントリーファイルの送信のみではエントリーにならないので、エントリーシートの送付も期限内に必ず行う。  
※エントリーシート送信後エントリーの追加・訂正をした場合も、エントリーセンター送信に加え、シート送付先へFAXでも送信する。  
(3) 参加料(一人500円)は、競技会当日選手受付にて納入する。当日欠席の選手分も必ず納入する。  
(4) 申込期限 2019年6月7日(金)24時まで。期限に遅れたものは受け付けない。
- 10 その他 (1) 競技場は全天候走路なのでスパイクピンは9mm以下のものを使用する(オールウェザー専用ピンを使用する)。  
(2) 競技規則第162条5「スタートにおける警告」に関するルールは適用せず、注意にとどめます。詳しくは「2019年度競技規則修改のポイント」を参照してください。  
(3) ナンバーカードは登録ナンバーカードを使用する。安全ピンも持参する。  
(4) 競技中の事故については応急処置のみ行うが、その後は各校で処置する。  
(5) 受付はAM7:30より随時行う。プロ訂正は招集完了時刻1時間前までとする。  
(6) 男女800mはオープンレーンにすることもある。  
(7) 1500mについては、補助競技場で行うこともある。その場合は手動計時で行う。  
(8) 各学校、1名以上の競技役員(公認審判員でなくてもよい)のご協力をお願いします。

《日本陸連による修改正》

○第113条・第125条7・144条1・240条7・駅伝競走規準

[国内]として、審判長・医師による競技中止命令が追加。

⇒競技者の生命・身体保護の観点から、審判長と医師（医務員は不可）に競技の中止を命じる権限が加えられた。（レフリーストップ・ドクターストップ）

⇒競技中止命令を受けた競技者は、直ちに競技を中止しなければならない。

健康状態確認のための声かけ、一時的介助は助力とはみなさない。

⇒転倒や意識混濁、疾病等により、明らかに通常歩行や競技続行が困難となった競技者（立ち止まりも含む）に対し、審判員や公式医療スタッフが声かけをしたり、一時的に介助するために競技者の身体の一部に触れたりすることは、助力とはみなさない。

《国際陸連による修改正》

○第180条17 試技時間

棒高跳を除いた4人以上または各競技者の最初の試技時間が30秒⇒1分に変更。

⇒試技時間の表は以下の通り。 ※つまり、2017年ルールに試技時間が戻った。

《単独種目》

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技	2分	3分	2分

《混成競技》

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人または連続試技	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の試技

○第230条7 競歩

ピットレーンの名称の変更

⇒「ピットレーン」という名称が「ペナルティーゾーン」に変更となる。

ペナルティーゾーン実施時に、ゾーンに入れなかった場合の扱いの明確化。

⇒3枚目のレッドカードが終了間際に出され、ペナルティーゾーンに入ることができなかった場合、当該選手のフィニッシュタイムにペナルティーゾーンにとどまるべき定められた時間を加算して記録が修正される。

○170条10 リレーで認められる交代人数 ※国内では変更なし

最初のラウンドに出場した競技者から、その後2人以内に限り交代⇒最大4名まで交代可

⇒IAAFルールでは、最大4名まで他の競技者と交代できるように変更されたが、この条項は日本国内では適用しないこととし、従来の条文は[国内]扱いで記述されることになった。したがって、国内においてはこの点の変更はなく、従来通り2名以内に限り交代することができる。

《長野県内におけるルールの取り扱いについて》

○第162条5 スタート時の不適切行為の扱いについて

高体連・中体連主催大会を除く全ての県内大会において、162条5を適用。

⇒スタート時の不適切行為として(a)~(c)の3つが示されており、この場合審判長は競技者に「警告（イエローカード）を与えることができる」としている。（その競技会中に（他種目であっても）警告を2回受けた場合は失格となり、その競技会に出場予定の他種目についても出場できなくなる。）日本陸連主催・共催大会（IH、全中、JOを含む）以外の競技会については、主催者がこの条項を適用するか否かを定めることができ、2018年度は県内において適用する大会・しない大会の両者が存在していた。2019年度は高体連・中体連主催大会を除く県内大会において、本条項をすべて適用することとした。（高体連・中体連主催大会での取り扱いについては、大会要項・競技注意事項に明記されるので、それぞれ熟読したうえで競技に参加すること。）

詳細については、審判講習会資料もしくは2019年度版陸上競技ルールブックを参照されたい。

文責：青柳 智之（日本陸上競技連盟競技運営委員・JTO／長野陸上競技協会競技運営委員長）

